

# 「教えて喜田先生!」子育てに悩む パパ&ママを応援!



学校法人喜田学園 通信制課程

**東林館高等学校**

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
  - ◎受験対応個別指導コース
  - ◎中学生コース・社会人コース
- 目的に合わせた幅広い学びを提供しています

福山市光南町1-1-35  
TEL.084-923-4543  
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

検索

**●奇声発生のパターン知る**  
まず「奇声」を上げる前後の状況や環境を、担任の先生から情報収集すること。これがとても大切です。奇声を上げる前に何があったのか?またその奇声に対して誰がどう反応し、どう振る舞い、どう行動し、どう収束して、そしてその後どうなったのか?などの前後関係の情報をしっかりと知る必要があります。奇声を上げた際の状況を知ればお子様が「奇声」を上げるパターンが見えてきます。そのパターンを知っているのか、

知らないのかによって保護者の方の我が子への声掛けは大きく変わってきます。もちろん、先生のお子様への対応も変わってくるはずです。

**●怒ると失うものは?**  
お子様が奇声を発する前後の状況を把握してうまくパターン化することができれば、お子様の言動や一挙手一投足に対して、感情的に反応しなくて済むようになる可能性があります。

ご質問の文章中に「怒る」という表現がありました。これは感情的に反応していることなので、お子様とのコミュニケーション手段としては効果的ではありません。

感情的に反応して、お子様に対して叱責を続けると、お子様の自己肯定感や自尊心が大きく傷つく可能性もあります。まず、保護者の方に行っていたきたいのは「担任の先生から前後関係の状況をよく情報収集すること」です。その結果改善の糸口が見つかると可能性があります。ご質問いただきありがとうございます。

3月号に続き、今回のコラムでも、読者からのご質問にお答えさせていただきます。

Q小学生の我が子が教室で奇声を上げているそうです。何回怒っても止めません。どうしたら良いですか?

Aご質問ありがとうございます。それは保護者の方にとってとても心配なことですね。切実な思いが文面から伝わってきます。何とかお力になればと思います。

3月号に続き、今回のコラムでも、読者からのご質問にお答えさせていただきます。

Q小学生の我が子が教室で奇声を上げているそうです。何回怒っても止めません。どうしたら良いですか?

Aご質問ありがとうございます。それは保護者の方にとってとても心配なことですね。切実な思いが文面から伝わってきます。何とかお力になればと思います。



喜田 紘平

東林館高等学校 理事長  
実践心理学カウンセラー

学び・自立支援を通して  
子どもの未来を創ります